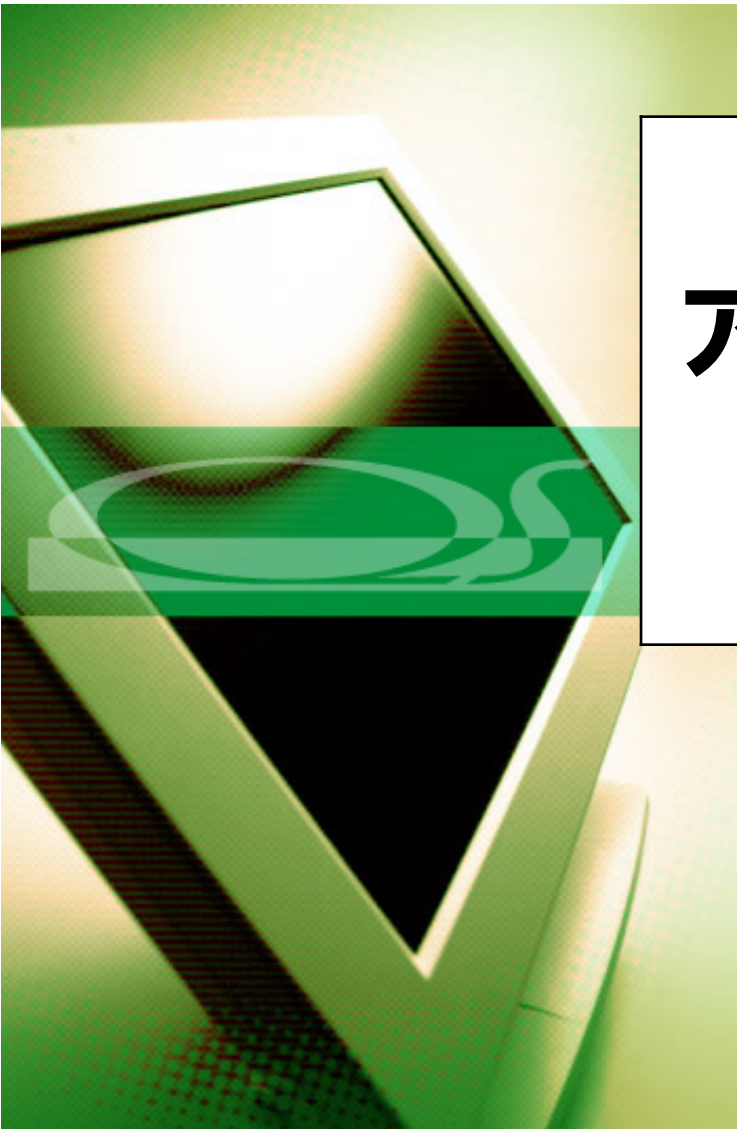


新製品紹介と 今後の予定

2003年7月8日
クオリティ株式会社
企画開発本部
橋本 博和



アセットソリューション 製品のご紹介

QND8.5ご紹介

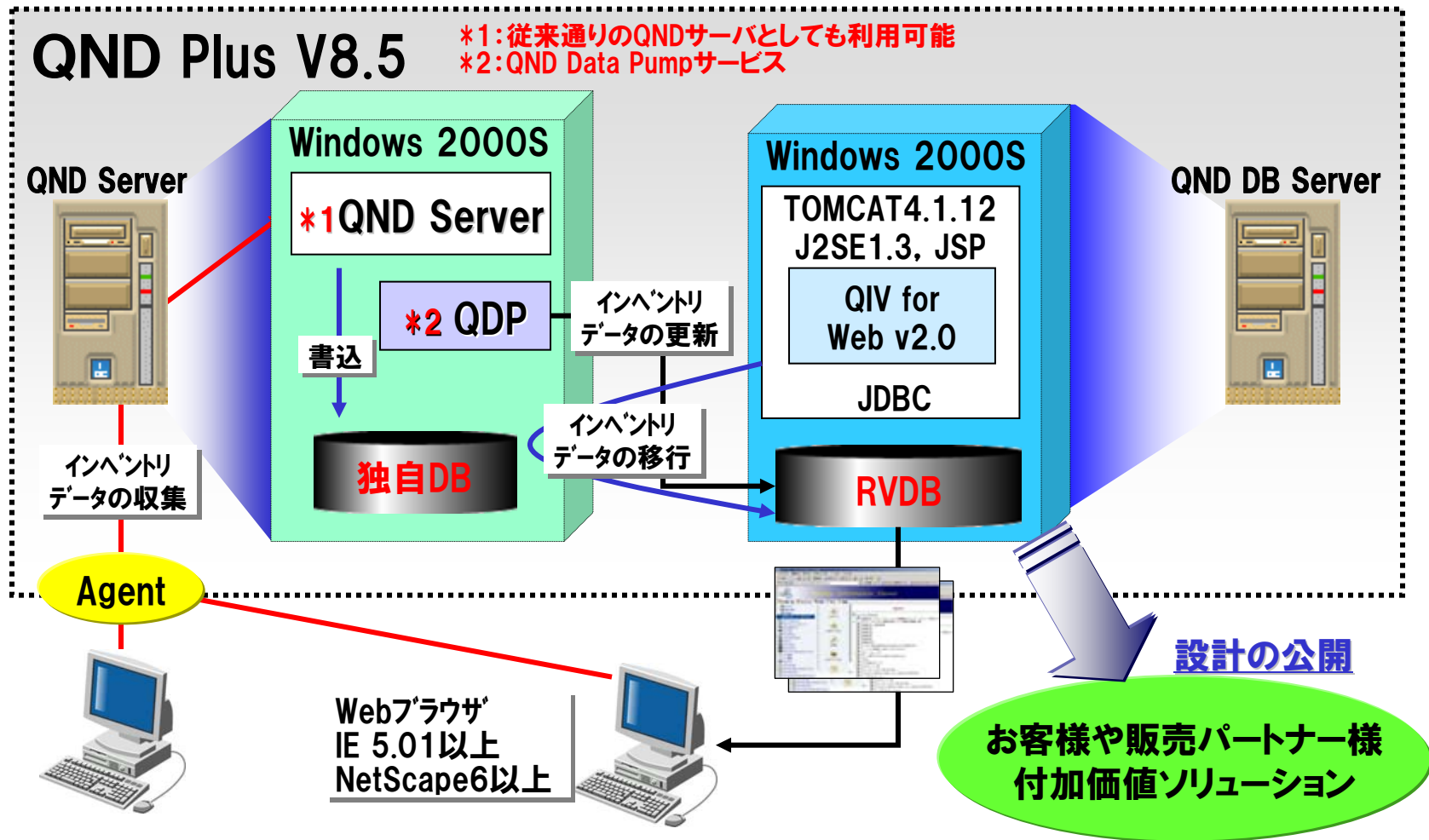
7月30日リリース予定



特徴

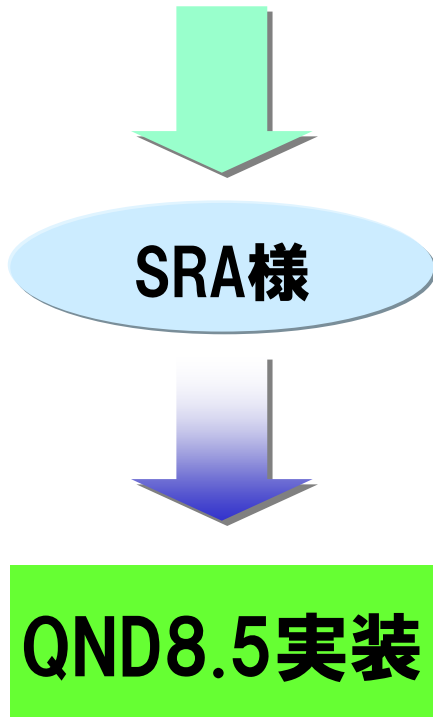
- 従来のQNDを利用して情報の公開
 - ☑ 商用RDBを標準実装
- Webブラウザから豊富な台帳閲覧
 - ☑ Internet Explorer 5.01以上、NetScape6以上
- 公開DBによる付加価値の創造
 - ☑ データベース設計の公開
 - ☑ お客様、販売パートナー様による付加価値創造の促進

QND8.5システム概要



RVDBエンジン(PowerGres1.0.1)ご紹介

UNIX/Linuxで定評のあるオープンソースデータベース
PostgreSQL7.3.2 ベースにWindowsに移植



1データベースサイズ	制限無し
1テーブルサイズ	最大64TB
1テーブルのレコード(行)数	制限無し
1テーブルのカラム(列)数	最大1600列
1カラム(列)のサイズ	最大1GB
1テーブル当りのインデックス数	制限無し

上記内容は、SRA様ホームページより抜粋。

RVDB使用上の注意事項

- ➡ CPUライセンスが同梱されます。
- ➡ 開発言語
 - Cインターフェイス (libpq.dll) とJDBCドライバが同梱されます。
 - ODBCドライバは付属しませんが、PostgreSQL用に提供されているものを お客様の自己責任でご使用することはできます。(GPL:General Public License)
- ➡ QND8.5とセットでのみ利用可能

今後の予定

6月24日・新発売 QDE(Quality Disk Eraser)

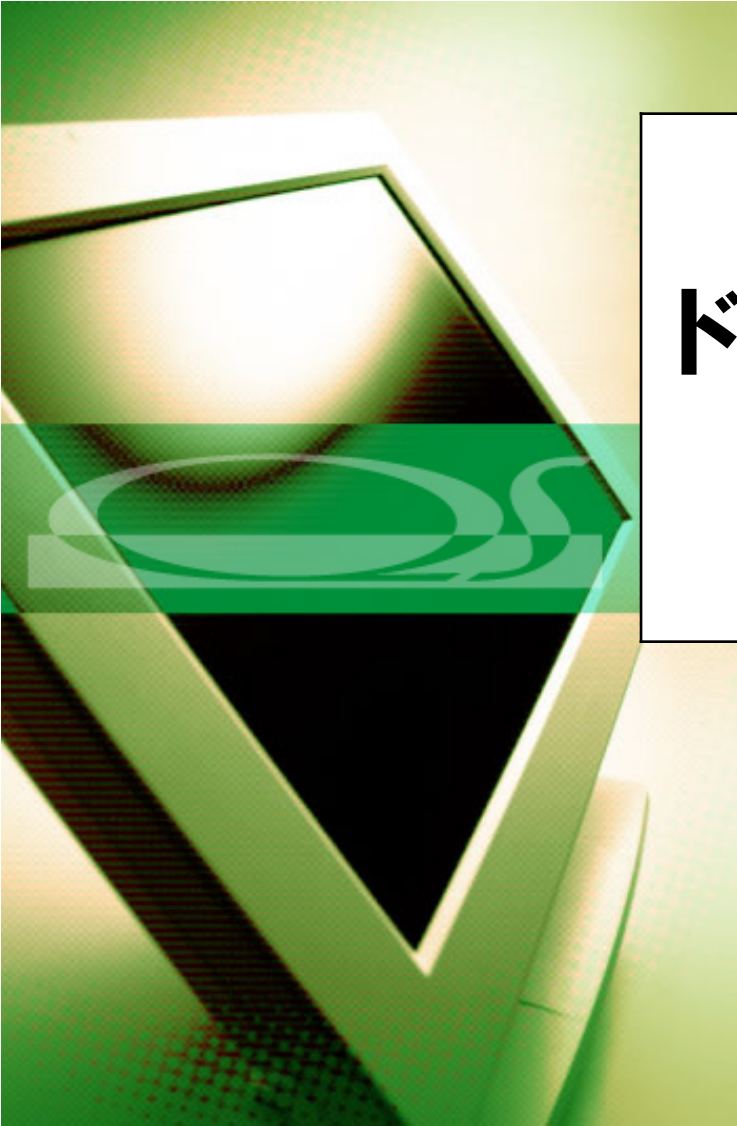
- PCのデータ消去
- QND/QAWとの連携(廃棄台帳)
- データ消去方式は米国国防省方式

QAW2.6

- RDBの標準実装(RVDB)
- QAW用追加台帳(11台帳)
- 従来のQAWとして利用も可能

NewRC

- 画像色数に依存しない方式
- 30%~50%程度の速度アップ
- クリップボードサポート
- チャットサポート



ドキュメントソリューション 製品のご紹介

DocuCom PDF Driver 6Jの紹介

6月27日リリース DocuCom PDF Driver 6J Server 版

➡ 新機能

- ◆ 電子署名
- ◆ オーバレイ対応
- ◆ 128Bitの暗号化

➡ 改善点

- ◆ PDF生成速度の向上(30%アップ)
- ◆ 大量印刷時の安定性向上(5000件、30万ページ)

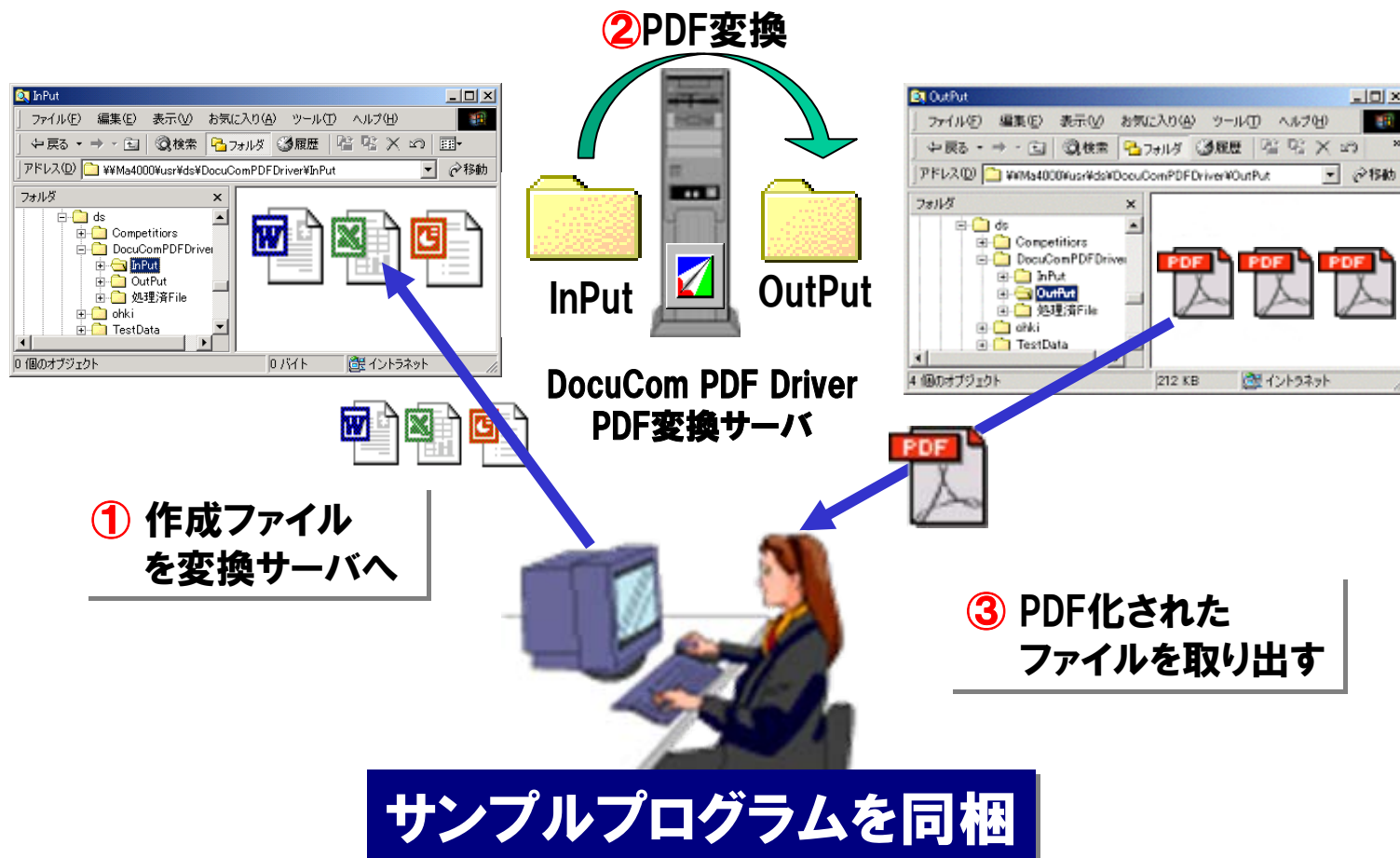
➡ サーバ利用の促進

- ◆ サーバで利用できるサンプルプログラムの提供
- ◆ ターミナルサービス/Meta Frameで利用

DocuCom PDF Driver 6J Client版

Win9X系、Win2000 Pro、Win XP 8月中旬以降リリース予定

DocuCom サーバ版 PDF 簡単変換



Data KeyServer

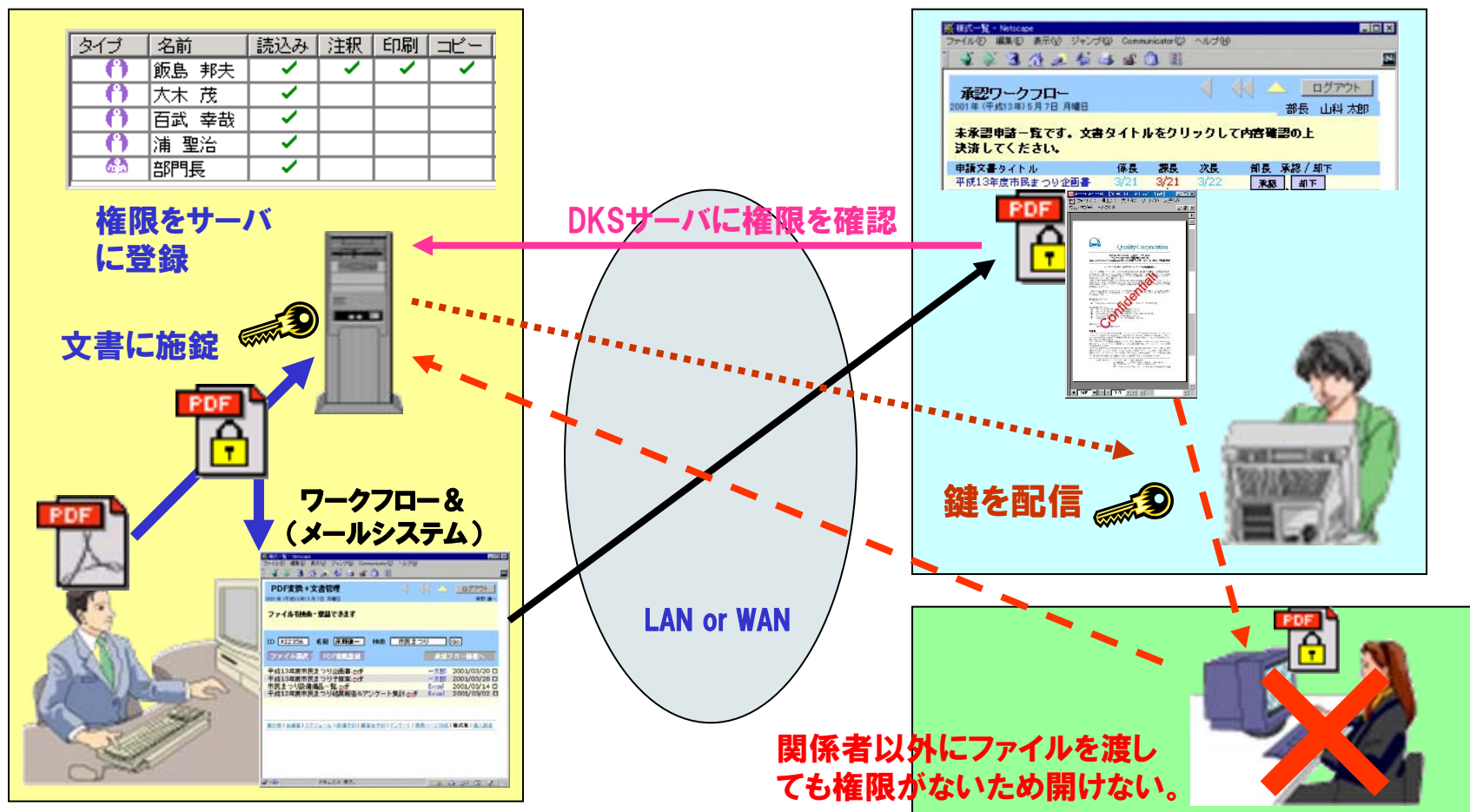


特徴

- ✦ **PDFファイル単位にアクセス権限設定**
 - ファイル単位に鍵をかけ「読込、印刷、注釈」の権限設定
 - 画面キャプチャも制限
 - 個人以外にも、グループ毎やグループ内の特定個人に設定も可能
- ✦ **配信後もアクセス権の変更が可能**
 - 配信後もアクセス権の変更が可能(素早くガード)
 - アクセス権の削除も可能
- ✦ **アクセス履歴の確認**
 - ブラウザよりアクセス履歴の確認が可能
 - 印刷や、どのPCからアクセスされたか確認も可能
- ✦ **原本(変換前)ファイルの添付も可能**
 - Ms-Officeや他のファイルをアクセス権を設定したPDFに添付可能
 - 取り出しを権限許可により、編集可能ファイルへ

Data KeyServer[®] 概要

PDFファイルアクセスコントロール



Data KeyServer1.2.6(改善点)

6月13日リリース DKS1.2.6

- ◆ SDKの適用
 - DKS1.2.6から「DKSコンソール、DKS for Domino」へ実装
- ◆ DKSサーバ
 - 同時接続制限を64から3,000へ向上(メモリーサイジング)
- ◆ DKSコンソールサーバ
 - ログ表示の改善(範囲指定)
- ◆ DKS Plug in
 - ログ取得時間をローカルタイムからサーバタイムへ
 - 高速化
- ◆ DKS for NotesDomino
 - 連携方式の変更(プロセスの変更)
- ◆ DKS for Active Directory
 - 認証IDを表示名からADのログイン名へ変更
 - ADとのプロトコルにSSLの適用

次期Data KeyServer

- ◆ スケーラビリティの向上
 - 各機能をコンポーネント化
 - RDBの実装(Berkeley DBとの分離)
- ◆ ユーザ情報とアクセス権/ログ情報の適正化
 - LDAPの選択
- ◆ オープンプラットホームへ
 - Windows/Linux/Unix
- ◆ 通信ボトルネックの改善
 - クライアント利用プロトコルの統一(HTTPへ統一)
- ◆ 新機能
 - ローカルクライアントでの利用
 - ユーザ/パスワード管理強化(キーの復活)
 - 個人情報漏洩防止強化
 - 原本保管